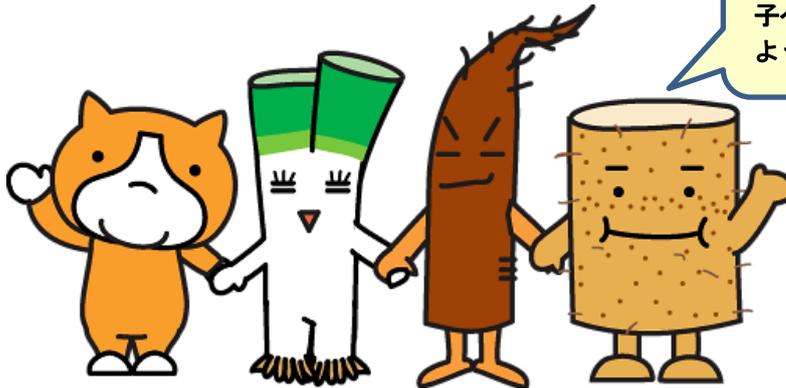


通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒に対する
早期支援のためのパンフレット

スタートは**気付き**から

ぼくたちと一緒に、気になる子への支援について考えてみよう！



にんにん ねぎん ごんぼう ねばっち

十和田ファミリーズ



学校という集団の中で、気になる子はいませんか？
じっとしていることができない、計算はできるが文章問題ができない、
空気が読めず一言多いせいで友達とけんかになることが多い・・・。
わがままだから・・・。しつけが悪いから・・・。そう思って済ませて
いませんか。

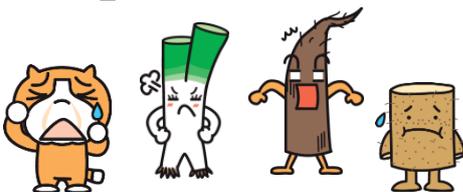
発達障害のある子どもたちは、障害があることに気付かれにくく、誤解
されてしまいがちです。

まずは、教師が「この子の行動には原因があるのでは？」と気付くこと
が支援の第一歩となります。

このリーフレットは、気になる子への早期支援をしていくために作成し
ました。先生方誰もが理解し、学校全体で支援することが大切です。



なにか原因が
あるのでは？



- 1 発達障害ってなに？・・・ 1P
- 2 気付きから校内支援まで・・・ 2P
- 3 通常の学級での支援
 - (1) 教室環境の工夫・・・ 3P
 - (2) 授業の工夫・・・ 6P
 - (3) 学級経営の工夫・・・ 7P
- 4 保護者への支援・・・ 9P
- 5 個別の教育支援計画
及び個別の指導計画・・・ 10P

十和田市教育委員会指導課

1 発達障害ってなに？



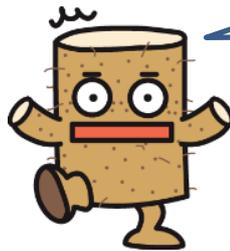
平成17年4月に施行された「発達障害者支援法」によって定義されている発達障害は、以下のとおりです。

「自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、学習障害(LD)、注意欠如・多動性障害(ADHD)、その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」

発達障害の原因はまだ分かっていませんが、生来性あるいは生後ごく早期に、何らかの認知機能の偏りをきたすような脳機能障害が存在すると考えられています。**保護者の育て方や本人の努力不足が原因で起こるものではありません。**

発達障害にも
いろいろあるんだ！

発達障害の特性



1不注意・うっかりミスなど
2衝動性・よく考えずに行動するなど
3多動性・じっとしていることが苦手など
という3つの特徴がある。

ADHD
(注意欠如
多動性障害)

自閉症スペクトラム

重い自閉症からアスペルガー症候群まで広汎性発達障害を連続的にとらえた概念の総称。広汎性発達障害は自閉症のグループの総称。医学界では自閉症スペクトラムの考え方が主流になってきた。

自閉症の主な特徴

- ・他人との社会的関係の困難さ
- ・コミュニケーションの困難さ
- ・想像力の乏しさとこだわり

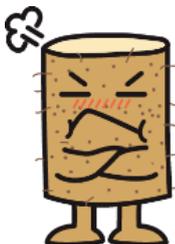
アスペルガー症候群

知的な遅れが軽微かない自閉症で、言葉の発達の遅れが少ないもの。

多くのことは年齢相応にできるが、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」のうち、特定の能力に困難が見られる。

LD
(学習障害)

自閉症スペクトラム
アスペルガー症候群
その他の広汎性発達障害

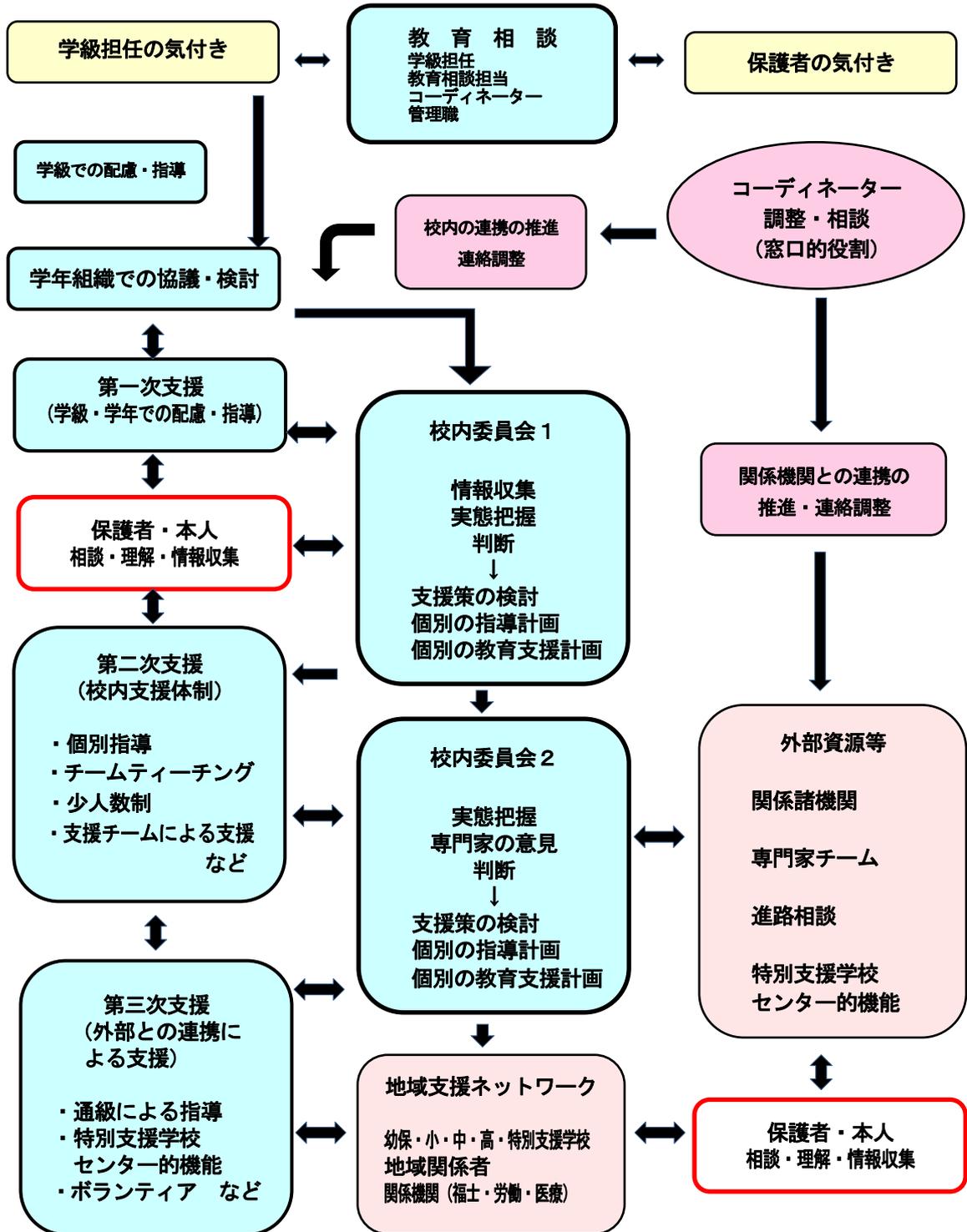


障害だと気付かれずに、からかい、いじめの対象になったり、孤立、引きこもりなどの二次障害へと発展したりするケースもあるんだぞ！

2 気づきから校内支援まで



校内において、発達障害等を含め気になる児童生徒に対する特別支援教育を進めていくときには、即外部機関との連携で対応するのではなく、まず、校内委員会やケース会議などを通じて校内での可能な支援を考えるなど**校内体制の整理から始めて、段階的な支援を検討**することが必要になります。



3 通常の学級での支援

では、多様な困難さに対応した支援を、

- (1) 教室環境の工夫
 - (2) 授業の工夫
 - (3) 学級経営の工夫
- の3つの視点で紹介します。

発達障害をもつ児童生徒は、学校生活の様々な場面で困難さを感じています。発達障害をもつ児童生徒ももたない児童生徒も、全ての児童生徒が困難さを感じず学校生活を送るためには、**ユニバーサルデザイン** (全ての人のためのデザイン) の視点を生かした学級経営や授業づくりが大切です。

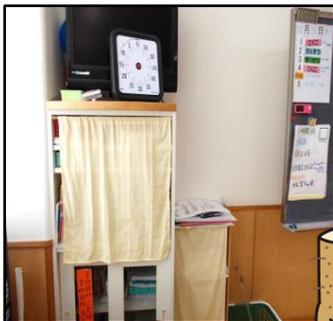
(1) 教室環境の工夫

① 視覚刺激・聴覚刺激に影響を受けやすい子

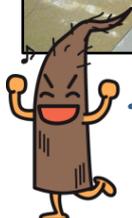


授業に集中できない!

視覚刺激に影響を受けやすい児童生徒にとって、必要以上の視覚情報は、どこに注目したらいいかがわかりにくく、集中して学習できない要因になります。**教室前面の掲示物を精選したり、掲示物の色に配慮したりする**などが効果的です。



黒板の周りや本棚をカーテンで隠すことで、授業中に目移りしないようにしているね。



これで授業に集中できるぞ!



聴覚過敏の子には、椅子にカバーをかけて**雑音を押さえたり**、声の**ものさしで声量を調節したり**してあげるなどの配慮も必要です。

② 変化への対処が弱い子，整理整頓が苦手な子，こだわりが強い子



整理整頓が 苦手だよー！



視覚刺激に影響を受けやすい子は、雑然とした環境が苦手です。分かりやすく整理整頓の仕方を指導する必要があります。



ロッカーの整頓の仕方



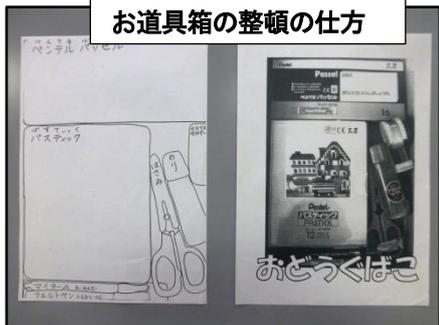
歯ブラシ・コップのしまい方



ズックの置き方



見本どおりに整理整頓すればいいんだね！



お道具箱の整頓の仕方



給食当番が優先的に手洗いでできるとわかっていても自分から手洗いきれないときは、言葉で見えるようにしておくで、安心して手洗いですね。



6組 主要5教科+実技 色分け表

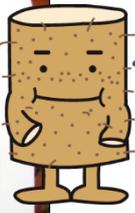
H27.4.21 6組担任 清野博雄

●この表は教科の「教科表」(ワークブック)と一致するように、下記の色のシールを貼ることで直感的に把握しやすくなります。

●この表は教科が「教科表」に一致するように、下記の色のシールを貼ることで直感的に把握しやすくなります。

●この表は教科が「教科表」に一致するように、下記の色のシールを貼ることで直感的に把握しやすくなります。

教科	国語	社会	数学	理科	英語	実技
色	赤	緑	黄	オレンジ	青	水色



教科を色分けして教科書にシールを貼っておけば、教科書をかばんや本棚から取り出すときに便利だね！グッドアイデア！

③ 行動が遅れる子，積極的に活動していない子，忘れ物が多い子

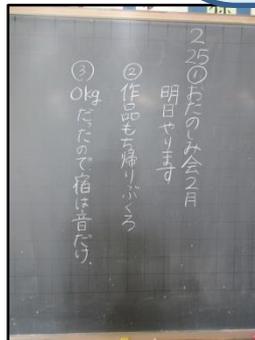
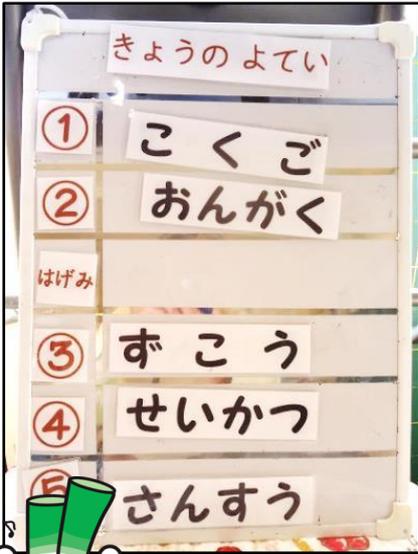


みんなより行動が遅れちゃう，忘れ物もしちゃうよ～！



言葉の指示だけでは取り組むのが苦手な児童生徒には，**視覚的に示してあげる**ことが有効です。1週間や1日の流れ，準備するものなど見える形にして示してあげることが大切です。

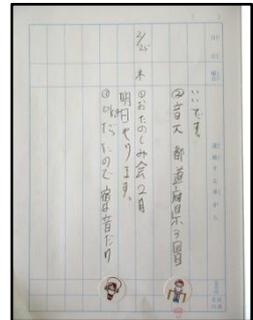
また，見通しが急に変わると，新たな課題に不安を抱く要因になり，誰もが心乱れるものです。予定が変更した場合はできるだけ早く情報を提供し，**安心感をもたせる**ことが大切です。



黒板に書いて



ノートに写させる！



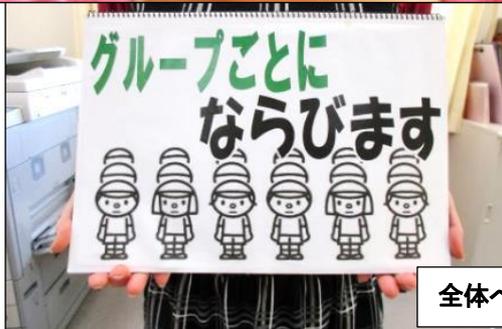
今日の予定，次の日の持ち物や宿題が書いてあると，安心するね！



個人への指示の例

- 授業の約束**
- ① チャイムの前に着席する
 - ② 号令がかかる前に **学習用具を整**
 - ③ **服装を整える**(シャツ・スック)
 - ④ **姿勢よく学習する**
 - ⑤ 話す人の方を見て聞く
 - ⑥ **だまって最後まで聞く**
 - ⑦ **うなずき反応しながら聞く**
 - ⑧ わかったら「はい」と返事をする
 - ⑨ その場に応じた **大きき声で話す**
 - ⑩ **「です」「ます」を使って** **最後まで話す**

授業の約束の例



全体への指示の例



学級のきまりや子どもへの指示を図にして準備しておく（**ルールの見える化**），子どもにとって分かりやすく，大きな声を出さなくても指示が通ります。お互いに気持ちよく過ごすことができますよ！

(2) 授業の工夫

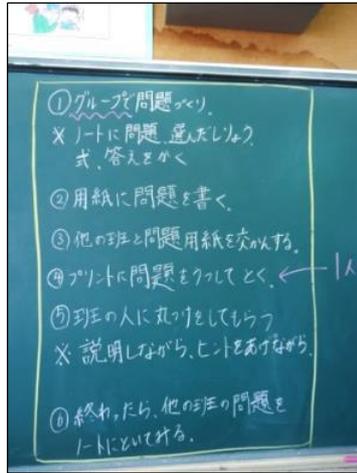
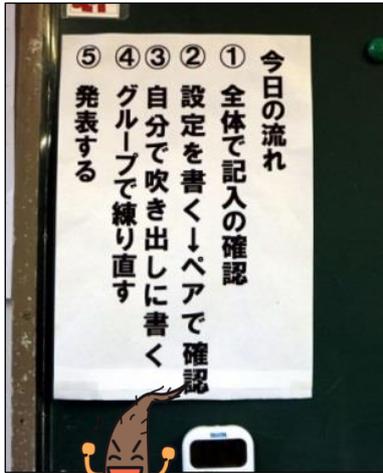
① 授業の見通しがもてない子



集中力が続かない！



1時間の見通しがもてない授業は集中力が持続しないものです。学習の流れが分かり、今どの場面を学習しているかが分かると安心して学習に取り組むことができます。



話すときは、短く、具体的が基本じゃぞ。指示は一つずつじゃ！一気に二つ三つは出さもんじゃないぞ！



1時間の授業の流れが最初から分かっているから、最後まで頑張れる気がするぞ！

② 課題への取りかかりが遅い子



すぐに課題に取り組みない！



学習に興味をもてないまま授業が進んでしまうことがあります。教科の特性に合わせた導入の工夫に努めましょう。また、資料を提示する際に、児童生徒の興味を引き付ける工夫をしましょう。実物や見本、拡大した写真や図、ICT機器の活用など、一工夫で効果抜群です。



教科書や作業の様子を拡大して掲示したり、ホワイトボードにプロジェクターで画像を写すなどの一工夫で、子どもの興味・関心がグッと高まるね！

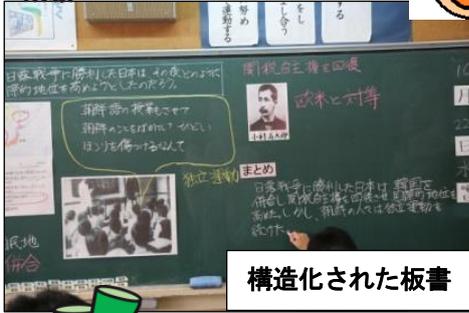
③ 視覚情報が多すぎて整理できない子



何をどう書いたらよ
いか分からないよ～！



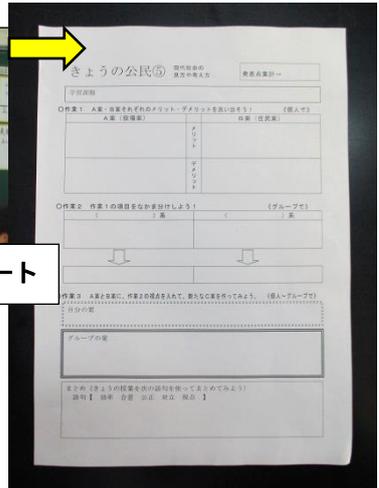
板書が雑然としていると、どこに目を付けてよいか分からず、板書をノートに写す意欲も失せてしまいます。**内容を精選し、構造化された板書**に努めましょう。また、板書に対応したワークシートの活用も効果的です。



構造化された板書



板書に対応したワークシート



黒板のどこに何を書くのかが決まっていると分かりやすいね。あと板書が整理されていると、そのままノートに写せるよ！

④ 友達とうまくかかわれない子



みんなとうまくできない、自分の考えや思いをうまく発表できないんだ・・・。



お互いの考えや思いを聴き合う活動を意図的に取り入れることで、**自己肯定感を育み、お互いに関心をもち合う**ようになります。学級活動や授業の中で、ペア学習、グループ学習、一斉学習など、ねらいに応じて様々な学習形態を工夫しましょう。



ペアで



グループで



だんだんみんなとうまくか
わることができるようになって
きたよ！

Ya~y♪



(3) 学級経営の工夫

時間を守れない子、係活動でトラブルになる子



時間を守って行動できない。
係活動がうまくできない！



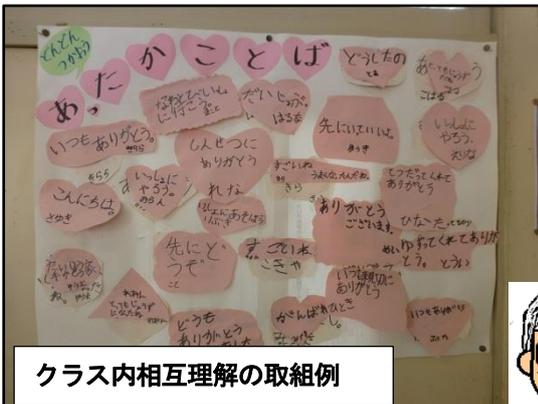
何をどうしたらよいか分からない生活状況は、居心地が悪く不安を感じさせます。また、トラブルの要因にもなっていきます。**学級生活のきまりを分かりやすく伝えることが大切です。**



タイマーや時計があると助かるなー！



係活動の手順やきまり、グループのメンバーなどを**見える化**してあげると、安心して活動ができるんだね！



クラス内相互理解の取組例



学級経営の工夫に欠かせないポイントは
①言葉のルールの確立
②行動ルールの確立
③子どもを多面的に見る
④子どものよさを見出す
⑤人間関係づくりを積極的に行う
 の5つじゃ。覚えておくのじゃぞ！

この他にも、様々な支援の仕方があります。参考資料を掲載します。

○山形県教育センター「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりハンドブック」

○国土交通省総合政策局安心生活政策課

「知的障害、発達障害、精神障害のある方とのコミュニケーション」

○仙台市教育委員会「平成27年度特別支援教育推進資料 子どもが輝くために～気づいて認めて支えて～」

○青森県教育委員会「特別な教育的支援を必要とする子どもたちへの指導のためのハンドブック～特別支援学級・通級指導教室・通常の学級～」

4 保護者への支援



児童生徒を支えていくためには、保護者の理解は欠かせません。教育相談を行う前に、家族がどういう状況にあるのか、保護者の心情に思いをはせてみてください。保護者の思いに寄り添い、悩みを受け止め、共に考え、精神的に支えていくことが大切です。

保護者との関係

(1) 障害受容

- 障害受容を強要しない。説得しない。
- きちんとした情報を提供する。
 - ・学校でこういう所で困っている。
 - ・検査結果もよく分かるように。
- 肯定的な情報を多く。
- 否定的な情報は少なく。
- 否定的な情報は、次にできるための課題として伝える。

(2) 対話

- 話すより聞く。
- 共感的に。
- 結論を急ぎすぎない。
- 結論は相手に言わせる。or 選択させる。
- 自分の利害や学校の都合が見えてはならない。
- 保護者との相互協力のための対話であることを忘れない。
- 子どもの問題を解決するためのパートナーとして対応する。

※困った時の相談機関

1 十和田市教育委員会 教育総務課学務係 58-0182

*主に、小・中学校や養護学校への入学・進学・転出入の手続き上のことや、障害にかかわる援助費等のことについて相談に応じます。

2 十和田市教育委員会 指導課（十和田市教育支援委員会事務局） 58-0183

*主に、教育支援総合診断の申込みやその内容について、また、障害に応じた支援のあり方や学校の対応等について相談に応じます。

3 十和田市幼児発達支援センター（健康増進課） 51-6792

*主に、小学校入学前のお子さんの障がいや養育上の悩み等について、幅広く相談に応じます。

4 三本木小学校（特別支援教育センター） 23-9553

*主に、小・中学校に入っているお子さんの障がいや養育上の悩み、日常の指導や対応のあり方、専門的な検査など、幅広く相談に応じます。

5 十和田市教育相談室「トワハート」（十和田市教育研修センター内） 24-2400

*主に、既に小・中学校に入っているお子さんについて、心配なことがある場合、相談に応じています。

6 八戸聾学校 八戸盲学校（相談支援センター内） 0178-43-3962

*見え、聞こえ、ことば、発達等で気になる方への相談支援を行っています。

7 七戸養護学校教育相談（成長にかかわる悩み） 62-2331

*お子さんの成長に関わる悩み相談に応じます。

※その他に、福祉課では障害のある幼児・児童・生徒が充実した生活を送るための支援【障害者手帳取得に関すること、自立支援医療（身体障害除去・軽減手術 医療費自己負担軽減）、小児慢性特定疾患治療費助成事業（医療費自己負担軽減）、障害児通所支援（児童発達支援・医療型児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援）など】を行っています。

5 個別の教育支援計画及び個別の指導計画



十和田市では、平成21年度から教育委員会と教育支援委員会の連携事業として、障害のある幼児児童生徒の一人一人のニーズを正確に把握し、教育の視点から適切に対応していくという考えの下、長期的な視点で乳幼児期から学校卒業まで一貫して的確な教育的支援を行うため、個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成に取り組んでおります。

もし、通常の学級に気になる児童生徒がいたら、一貫して的確な教育的支援を行うために、**障害の有無にかかわらず**個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成してみてください。全教職員や保護者、関係機関と連携して一貫した支援をしていきましょう。

通常の学級に在籍する児童生徒の個別の教育支援計画及び個別の指導計画

個別の教育支援計画				
本人氏名	十和田 湖太郎	性別	男	生年月日
保護者氏名	十和田 太郎	在籍学級	〇年〇組	
住所	十和田市〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (Tel. 0176-12-3456)			
現在の主な様子	得意なこと 好きなこと	<ul style="list-style-type: none"> 運動や体を動かす活動が好きである。 友達と話すことが好きである。 平仮名の読み書きが好きである。(小学校1年生程度の漢字を書くことができる。) 		
	苦手なこと	<ul style="list-style-type: none"> 待つことや長い時間集中することが苦手である。 感情のコントロールが苦手である。 人前で話すことが苦手である。 		
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 習い事(道1回、水泳教室)に休まず通っている。 1人で登下校することができる。 		
保護者の願い	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の適切なやり取りができるようになってほしい。 周りの子たちと仲良く生活してほしい。 			
本人の願い	<ul style="list-style-type: none"> 友達と仲良く遊びたい。 			
長期目標 (期間：3年)	<ul style="list-style-type: none"> 多くの授業で、最後まで学習に参加することができる。 感情のコントロールができ、友達と仲良く生活することができる。 			
子供に対する合理的配慮	<ul style="list-style-type: none"> ①-2-1 情報コミュニケーション及び教材の配慮 ・ルールや約束を視覚的に伝える。 ①-2-3 心理面・健康面の配慮 ・周囲の受容的な雰囲気づくりをする。 			
支援方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・注意を向けてから短く分かりやすい言葉での説明や指示を行う。 ・事前に活動の内容や時間を伝える。 ・同語、異数を個別に実施する。それ以外は、交流学級で学習する。特支の教師が常同する。 ・朝読書、ドリルタイム、朝の会、給食、帰りの会も交流学級に参加する。 			
関係機関との連携及び所持手帳等	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇クリニック受診(〇〇医師：定期通院、学校や生活面での助言、服薬有り) ・放課後〇〇会(担当〇〇：週2回利用、情報の共有) ・精神障害者保健福祉手帳3級所持 			
作成年月日	令和2年〇月〇〇日			
作成参加者	母親、担当保育士〇〇〇〇、教諭〇〇〇〇(特別支援コーディネーター)			
保護者氏名	十和田 太郎 印			

※次回作成予定：4年生に進級する時

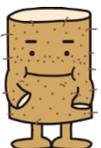
個別の指導計画			
作成日	年	月	日
評価日	年	月	日
学年・組	〇年〇組	本人氏名	十和田 湖太郎
学校生活の様子	<ul style="list-style-type: none"> うまくいっているところ ・話すことが得意なので、元気な声で発表することができる。 ・電車が好きで、友達と電車の話をしたり、図鑑を見たりしている。 ・朝マラソンを頑張っている。 		
短期目標 (期：1年)	<ol style="list-style-type: none"> 授業では、自分が決めた課題に取り組み、机上で学習できる。 友達とけんかになった際、気持ちを落ち着け、自分の思いを言葉で伝えることができる。 		
手立て	<ul style="list-style-type: none"> 目標1について ・課題に取り組み内容や順番を決めることができるようにする。 ・机上の見える所に本人の活動の流れを掲示して、見通しがもてるようにする。 ・達成できたことを大いに称賞し、視覚的に確認できるようにシールなどを活用する。 目標2について ・気持ちを落ち着かせる方法(深呼吸をする、目をつむる)を知らせ、自分に合う方法を習慣化できるようにする。 ・トラブルになった状況について振り返り、教員と一緒に適切な言葉で伝える場面を設定する。 ・1回でもできたことを称賞し、自信をもてるようにする。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> 目標1について ・課題を自分で決める場面を授業中に複数回設定することにより、集中して学習に取り組めるようになり、教室の外へ出ることはなくなった。 目標2について ・トラブルになった時、深呼吸をして気持ちを落ち着けている場面が見られるようになった。また、どんなことを言ったのか自分で振り返り、どのような言葉が良かったのか教員と一緒に考えることができるようになった。 		
作成者	学級担任：	特別支援コーディネーター：	

※個別の教育支援計画

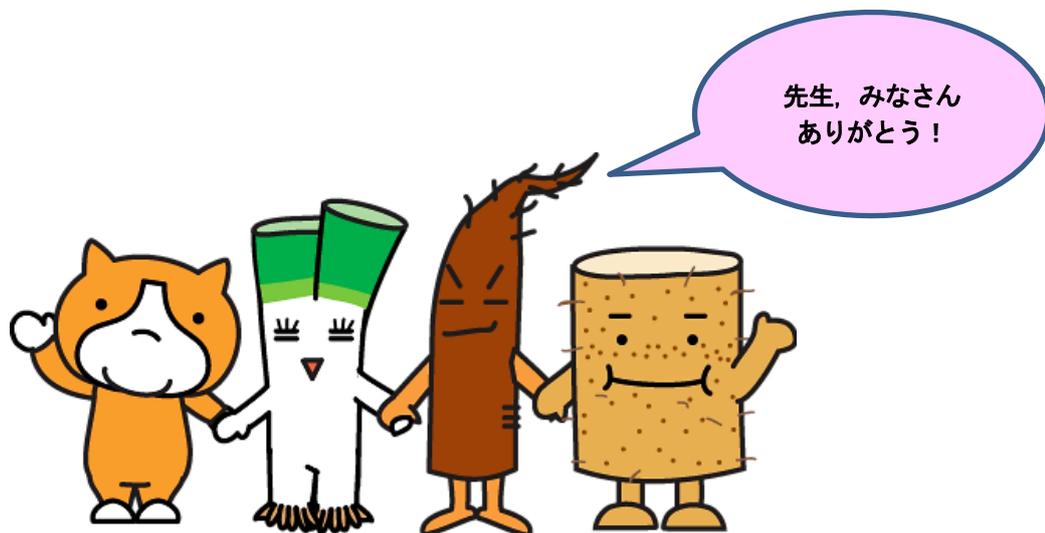
他機関との連携を図るための**長期的な視点**
に立った計画
(様式→十和田市の様式を使用する)

※個別の指導計画

指導を行うための**きめ細かい計画**
(様式→青森県の様式を参考にする。各校で独自に作成しているものがあれば、それを使用してもよい)



いろんな人とかかわりながら幼児・児童・生徒の成長を見守ることは大切なことだね！



通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援のためのパンフレット

平成26・27年度十和田市発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援研究事業運営協議会編

平成28年4月 初版第1刷発行

令和2年3月 第2刷改訂

発行・編集

○十和田市発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援研究事業運営協議会委員

○十和田市教育委員会指導課

〒034-8615

青森県十和田市西十二番町6番1号

TEL 0176-58-0183 FAX 0176-24-3953